

# 議会だより編集委員会

10月24日～25日

# 議会廃棄物処理場視察報告

11月28日～29日

第75回・町村議会広報研修会に、委員8名、事務局2名の在所帯で2日間の有意義な研修に参加しました。

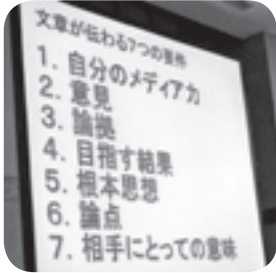
中身の濃い研修内容を生かし、今後もより一層見やすき読みやすさを求め、改善を進めたいと考えています。

今回は、研修のひとつを紹介し報告いたします。文章表現・コミュニケーション、インストラクター、山田ズーニー氏のユニークな内容で研修が始まりました。

もし宇宙人発見のニュースが発表されたとして、あなたならどれを信じますか。

- 1、東スポ
- 2、インターネットの掲示板
- 3、フジテレビの笑っていいとも番組中字幕
- 4、NHKの7時のニュースで
- 5、日経新聞の号外で

あなたならどれを信じますか。



第一分科会の135名の多くは、NHKのニュースで、次に日経新聞でした。皆さんはいかがですか。

それぞれ違う見方になるのですが、ここで講師はおかしくないですかと、振っていました。

書いてあること、言っていること、すべてが一緒なのになぜ違うのか、同じニュースなのになぜ差があるのか。

会議に置き換えれば、同じ意見を持っていても人が違えば、賛否が変わる可能性を示唆しています。

報告しつくせませんが、講師は自分のメディア力アップの必要性を唱えていました。

自分のメディア力とは、自分が信頼されていれば言葉は届きやすくなる。

不信感を持たれていれば、同じことを言っても悪くとられることもあり、最悪、言葉は届かない。

自分という人間性を高めながら伝える工夫が必要と言っておられました。

何を言うかより、だれが言うか…こんな捉え方もできるのではないのでしょうか。なにかの参考になれば幸いです。

小井土哲雄

最近の焼却施設の現状を把握する目的で、近県の3カ所の視察を行った。

最初の小山川クリーンセンターは、埼玉県北西部の本庄市を中心に、6市町村人口約14万人で構成されている。のどかな田園風景の広がる地帯で、周辺には視界を遮る大きな建造物は無く、遠くから所在の確認ができる施設である。

焼却能力は28t/日、ストローカ方式による火格子3基の炉で処理、発熱利用の蒸気タービン発電、温水利用の福祉施設、焼却灰溶融処理施設、粗大ごみ処理施設、公害防止システム等を有した、巨大な施設である。事業費約13億7千万円を投じて、平成12年4月に事業開始をしている。

計画当初、建設予定地から500m以内に、反対地権者が居住しており、建設予定地を500m移して認可を得たとのこと、現在はこの法律は存在しない。

6階の窓から周囲を見渡すと、眼下には緑いっぱい野菜畑が広がっている。



小山川クリーンセンター

所沢で野菜のダイオキシンが問題となった頃と記憶するが、よく地元合意が得られたものと感心する。

温浴施設は隣接地に3階建て、50mの温水プール・幼児プール、浴室浴槽各種世代間交流スペース・健康づくりコーナー等、誠にすばらしい施設であるが、利用者数が少なく赤字経営と頭をかかえていた。

所沢と富士吉田の施設は共通した点が多くあるが、所沢では、屋上に草木を植え、武蔵野丘陵の景色や森

に溶け込ませる配慮がされている。

富士吉田は、焼却灰の溶融方式はコスト高を理由に採用せず、最終処分場に埋めている。

視察先3施設はそれぞれ一長一短はあるものの、人口規模を考えてみると、設備が過剰ではないかと感じた。視察で得た知識を活用し、後世に悔いを残さない施設造りを進めなくてはならないことを痛感した視察であった。

池田健一郎

池田健一郎

# 浅麓地域活性化議員懇談会

11月25日、小諸市コミ  
ユニティセンターにおいて、  
浅麓地域活性化議員懇談会  
が行われた。

「浅間山の火山活動と防  
災」と題して、浅間山火山  
防災連絡事務所長の宮下誠  
氏の講演を聞いた。

自然災害に対する関心が  
高まるなか、浅間山の噴火  
に伴う火砕流で雪が解け、  
土砂などと混って流れ下る  
「融雪泥流」の被災想定マ  
ップが公表されて、その対  
策の検討が始まっているの  
で、タイムリーな研修であ  
った。

講師から、浅間山火山発  
達史や噴火史、爆発的噴火  
の特徴を霧島(新燃岳)や北  
海道(十勝岳)の様子と比較  
し、スクリーンに写しなが  
らわかりやすく解説された。  
住民の避難に関する心得  
として、

◎沢筋や低地では、早めに  
自らの判断に基づいて自  
主避難する。

◎危険箇所を通らず、泥流  
の流れに直角に、近くの  
高台など高所に避難する。  
◎近くに高台など高所がな

い場合は、泥流の力に耐  
えうる丈夫な建物に避難  
する。

◎屋外に泥流が到達してい  
る場合、またはすぐ側ま  
で迫っている場合は、屋  
外に出ず、建物の2階以  
上に避難するなどの説明  
があった。

御代田町マップでは広範  
囲に被害の可能性があるこ  
とから、全町民を対象とす

る説明会も開かれ、「自宅  
の位置や地形をあらためて  
確認し、もしもの際にどの  
ように行動するかを知識と  
して持つてほしい」との総  
務課担当者の話を補充する  
内容でもあった。  
来年度には国も噴火時を  
想定した砂防事業も開始さ  
れるようで、参考になる講  
演であった。

東口 重信



## 議 会 日 誌

式典・町定例議会等は除く

9月

14日 佐久水道企業団例月監査  
15日 町議会全員協議会  
21日 町議会運営委員会・第4回臨時会  
29日 佐久水道企業団議会運営委員会

10月

3日 佐久広域連合議会全員協議会・第3回定例会  
5日 佐久水道企業団議会第2回臨時会  
12日 町議会全員協議会  
18日 北佐久郡議会議長連絡協議会  
19日 議会だより編集委員会  
26日 県町村議会議長会第13回定期総会  
27日 議会だより編集委員会  
31日～11月2日 浅麓水道企業団議会行政視察研修

11月

1日～2日 佐久水道企業団議会行政視察研修  
7日～8日 町民建設経済常任委員会行政視察研修  
9日～11日 佐久広域連合議会議員行政視察研修  
15日～16日 第55回町村議会議長全国大会  
21日～22日 総務福祉文教常任委員会行政視察研修  
24日 佐久広域連合議会運営委員会  
25日 町議会全員協議会・議会運営委員会  
28日～29日 小山川クリーンセンター他視察研修

12月

1日 佐久水道企業団例月監査